

次のステージへ向かう企業を応援

東京証券取引所が運営する株式市場

TOKYO PRO Market セミナー2022

上場は、資金調達や知名度・信用力の向上、優秀な人材確保など企業に大きなメリットをもたらします。

マザーズ等の一般市場への上場は、株主数や利益等に関する数値基準へ適合する必要があるほか、準備しなければならない書類が多く、上場までにより多くの時間・コストを要します。

そこで、新たに用意された市場が『TOKYO PRO Market』。今回は、本マーケットの特徴、上場メリット、活用状況などを含めお話頂くほか、実際にその市場に上場された企業経営者にご登場頂きます。

特長

- ① 買い付けできる投資家を「プロ投資家」に限定し、より自由度の高い上場基準・開示制度を実現
- ② 株主数や利益の額などの数値基準がなく、柔軟な上場制度
- ③ 新規上場時の監査証明が1期間でOK、上場準備負担が軽減
- ④ 専門家集団J-Adviserの手厚いサポート、上場後も開示支援のサポートも受けられる

■日時：2022年1月19日（水）18：00～20：30（受付開始17：30～）

・第一部 18：00～18：45

株式会社東京証券取引所 上場推進部課長 横尾 直樹 氏

・第二部 18：45～20：00

株式会社五健堂 代表取締役社長 蓮尾 拓也 氏

・第三部 20：00～20：30 名刺交換・懇親会

■会場：ダイヤモンド経営者倶楽部 銀座サロン

東京都中央区銀座4-9-8 NMF銀座四丁目ビル3階

■参加資格：取締役以上、および上場担当者

■参加費：会費内無料

■協力：宝印刷株式会社

■主催：ダイヤモンド経営者倶楽部 電話：03-6226-3223

***** 受付 *****



※ご出席の方は、裏面ご確認のうえ HP (<https://www.dfc.ne.jp/>) の会員専用ページ

QRコードを読み取りのうえ、お申し込みください。

■講師紹介

第一部 講師 株式会社東京証券取引所 上場推進部課長 横尾 直樹 氏

2006年に東京証券取引所入社。2010年から2016年まで、日本取引所自主規制法人・上場審査部に所属し、国内企業の新規上場・市場変更・一部指定等の審査業務に従事。

その後現在に至るまで、東京証券取引所・上場推進部において、国内企業の上場サポート業務（本則市場、JASDAQ、マザーズ）や、TOKYO PRO Market のプロモーション活動に従事（現職）。



第二部 講師 株式会社五健堂 代表取締役社長 蓮尾 拓也 氏

1966（昭和41）年、京都市生まれ。京都府立伏見工業高校・夜間部を1年で中退。その後、建設業や配送業、建材業で仕事を学ぶ。23歳で個人事業主として赤帽軽貨物事業を開始。『五つの健康』（体の健康、仕事の健康、お金の健康、家族の健康、心の健康）を高めるという想いを社名に込め、1990年『有限会社五健堂』設立。1995年『株式会社五健堂』に組織変更し、事業拡大後、1998年に創業10年で売上10億円を達成。以降も食品物流事業に特化し、2016年よりM&Aの取り組みも行う。事業基盤の強化と、より強い組織体制を構築し、社会インフラとして物流を支えながら、必要とされ続ける企業を目指す。



五健堂グループとは・・・

主に食品物流を中心とする、倉庫等（倉庫、製造工場、事務所）の賃貸、荷物のピッキング、配送を一貫して行う総合物流業者。製造工場を配送拠点に置き、工場から配送拠点までの運搬（いわゆる横持配送）をなくすことや、複数社による共同配送を実現し、トータル物流費の削減を行う。グループ企業として、(株)五健堂ほか、連結子会社6社（(株)BRIDGE、(株)MOVING、(株)PRIDE、(株)古川運輸、(株)ウイングスマルコー、(株)F&S）より構成される。

～関連事業～

【総合物流マネジメント事業】

各連結子会社（(株)BRIDGE、(株)MOVING、(株)PRIDE、(株)古川運輸、(株)ウイングスマルコー、(株)F&S）への経営指導、各連結子会社の人材採用、食品物流事業の顧客窓口対応等を行う。また自社所有物流センター内の倉庫や事務所、駐車場を物流部門の顧客や取引業者向けに賃貸する等、不動産管理の役割も担う。

【ロジスティクス事業】

食品物流事業及びメール便事業の展開。食品物流事業では、顧客のニーズに応えるため24時間365日稼働し、全温度帯（冷凍・冷蔵・定温・常温）に対応。以前の配送業務中心の事業から、自社物流センターを構えたことによる倉庫業も行う。また「3PL(※)」概念を取り入れ、総合物流事業として事業を展開。メール便事業では、封書や一部小荷物を京都府内全域に配達。顧客は京都府や京都市等の官公庁が中心。

※3PL（サードパーティ・ロジスティクス）事業とは、荷主に対して、物流改革を提案し、包括して物流業務を受託する事業のこと

【フード&サービス事業】

コマダ珈琲店のFC14店舗の展開。店舗展開エリアは京都府（4店舗）、滋賀県（1店舗）、奈良県（5店舗）、三重県（4店舗）。福利厚生の一環として、本社前にファミリーマート1店舗を運営。